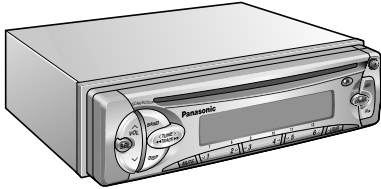


Panasonic

CD サウンドステーション

取扱説明書



品 番

CQ-RX3000D



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

CD プレーヤー・FM/AM チューナー・45W × 4ch ハイパワーアンプ搭載

ダイレクト選曲

1 ~ 12 曲目までを、曲番号で選ぶことができます。(P.13 ページ)

CD-R/RW ディスク対応

「CD-R/RW ディスクのご使用について」をお読みください。(P.17 ページ)

ユニットの盗難を防ぐ、リムーバブルフェイス

車から離れるときにパネルを取りはずせます。(P.16 ページ)

付属品の確認

配線・取り付け用の付属部品は、20 ページをご覧ください。

添付品

取扱説明書

保証書

お客様ご相談窓口一覧表

もくじ

ご使用前に

特長	2
付属品の確認	2
安全上のご注意	4
各部のなまえとはたらき	7

使う

電源を入れる(基本操作)	8
電源 ON/OFF 音量調整 音源(ソース)切り替え 表示切り替え 小音量時の低・高音強調(ラウドネス) 消音(ミュート) 時計調整	
ラジオを聴く	10
CD を聴く	12

使いこなす

音質(サウンド)を調整する	14
メインボリューム(音量調整) パス トレブル バランス フェダー	
パネルの脱着のしかた	16

必要なときに

ディスクの取り扱いについて	17
お手入れのしかた	18
故障かな!?	18
配線・取り付けの前に	20
取り付けかた	21
配線のしかた	22
仕様	23
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



本機の配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、バッテリーの⊖端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

安全上のご注意

注意

運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。

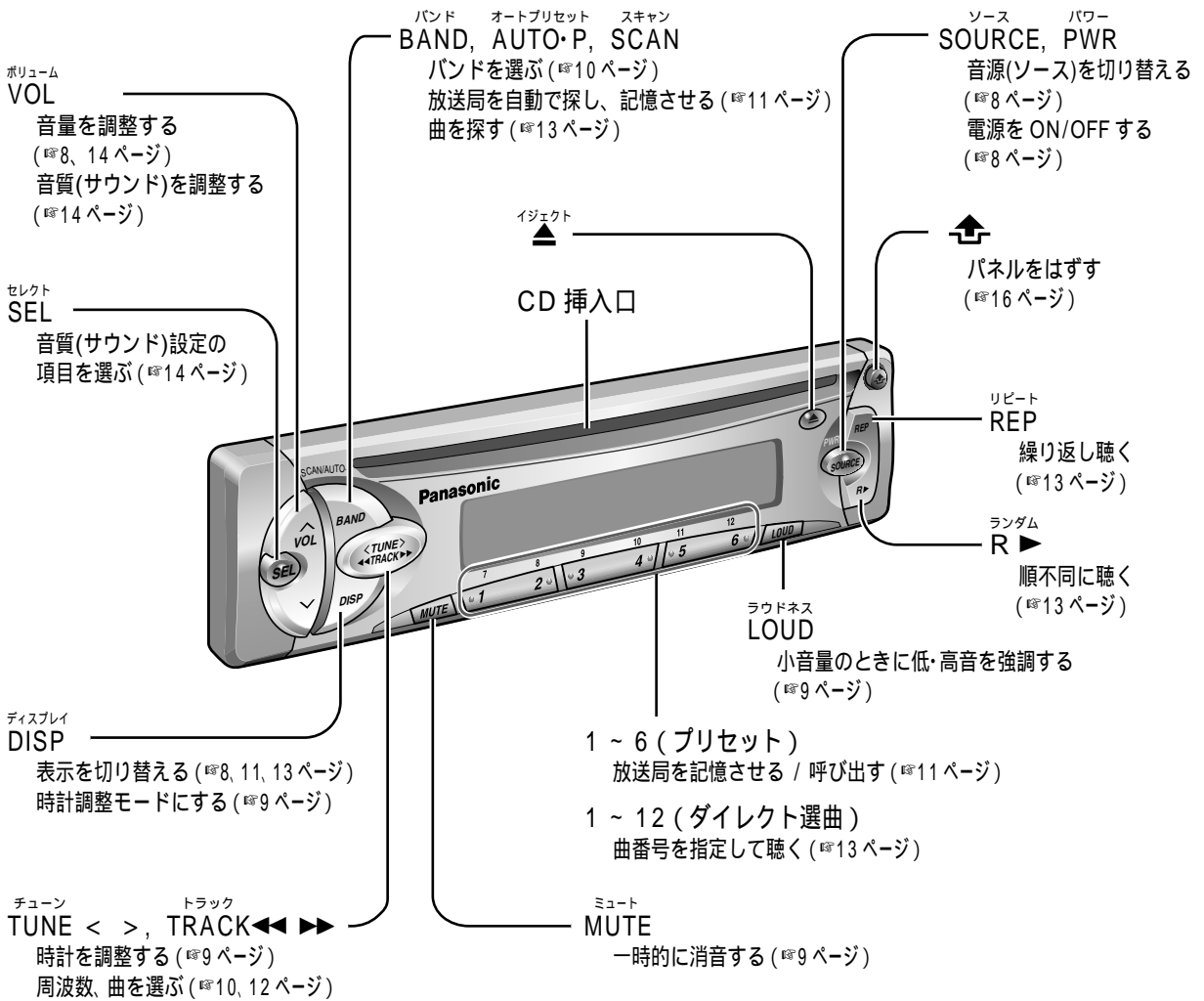
コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

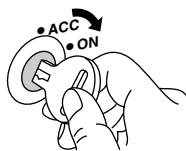
各部のなまえとはたらき



電源を入れる (基本操作)

準備

車のエンジンをかける
(「ACC」の位置でも可)



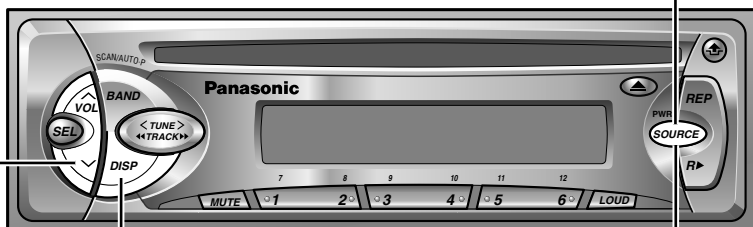
電源を入れる/切る

ON : ^{PWR} SOURCE を押す

OFF : ^{PWR} SOURCE を 1 秒以上押す

お知らせ

電源を入れたときに音量レベルが 20 以上になっている場合は、徐々に音量が上がります。(スムーズアップボリューム)



音量を調整する

^{VOL} を押す

VOL 20

初期設定 : 20

調整範囲 : 0 ~ 40

音源(ソース)を切り替える

SOURCE を押す

TUNER ↔ CD
CDが入っているときのみ

お知らせ

ディスクが入っていないときは、CDモードに切り替わりません。

表示を切り替える

DISP を押す

電源が入っているとき

通常表示(例: TUNER モード)

76.1 FM 16 ↔ 11:39 FM 16

時計表示

電源が切れているとき

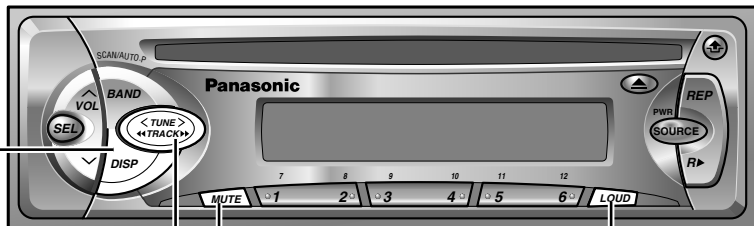
時計表示

11:39 ↔ 表示なし

表示なし

お知らせ

通常表示は、モードによって異なります。時計が未調整のときは「Adj」と表示されます。



小音量のときに
低・高音を強調する(ラウドネス)

LOUD を押す
(再度押すと、解除)



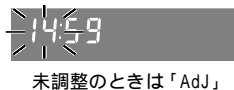
一時的に消音する(ミュート)

MUTE を押す
(再度押すと、解除)



時計を調整するには

1 **DISP** を 2 秒以上押して
時計調整モードにする



2 **TUNE**
< **>** で時間を調整する
戻る 進む



3 ① **DISP** で分を選び、
② **TUNE**
< **>** で調整する
戻る 進む



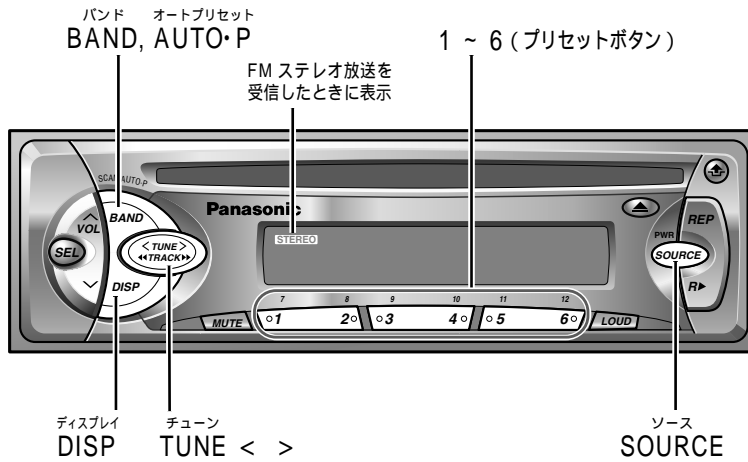
4 **DISP** で時刻を決定する
通常モードに戻り、時計が
動き始めます。



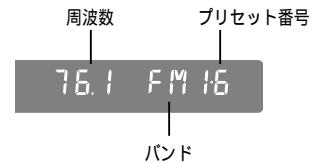
お知らせ

時計は 24 時間表示です。
電源が切れているときは、
調整できません。

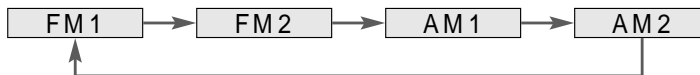
ラジオを聴く



1 SOURCE を押して、
TUNER モードにする



2 BAND を押して、
バンドを選び



3 TUNE < > を押して、
放送局を選ぶ

自動選局(シーク)したいときは...

0.5 秒以上押す

ボタンを離れた時点から選局を始め、受信すると止まります。
(押し続けている間は、早戻し/早送り)

放送局を記憶させるには

各バンド（FM1、FM2、AM1、AM2）ごとに、放送局を最大 6 局まで記憶させることができます。

放送局を
一つずつ記憶させる
(プリセットメモリ)

バンドと周波数を選び、(☞ 左ページ)

1 ~ **6** を 2 秒以上押す
(プリセットボタン)

表示が 1 回点滅し、受信している
放送局が記憶されます。

プリセット番号 2 に記憶させた場合



放送局を自動で探し
記憶させる
(オートプリセットメモリ)

バンドを選び、(☞ 左ページ)

AUTO-P
BAND を 2 秒以上押す

受信状態のよい順に記憶されます。

終了すると、記憶された放送局が
約 5 秒ずつスキャンされます。

スキャン中



1 ~ **6** で、放送局を選んでください
(プリセットボタン)

お知らせ

記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに更新されます。

記憶された放送局を
呼び出す

バンドを選び、(☞ 左ページ)

1 ~ **6** を押す
(プリセットボタン)

表示を切り替える

DISP を押す

通常表示

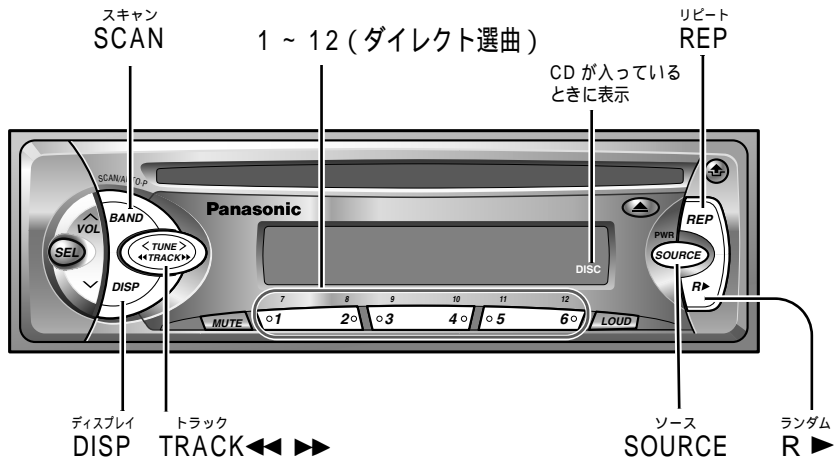
76.1 FM 16

周波数・バンド・プリセット番号

時計表示

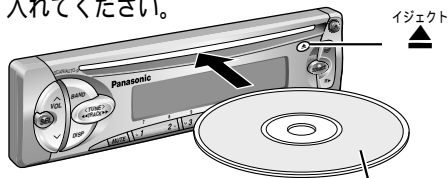
11:39 FM 16

CD を聴く



CDを入れる

ディスクが入っていないことを確かめてから、入れてください。



お願い タイトル面を上
8cm CDに、シングルアダプターを使用しないでください。
アダプターなしで再生できます。

CDを取り出すには

 を押す

CDが入っているときは...

1 SOURCE を押して、
CDモードにする



2 TRACK   を押して、
曲を選ぶ

早戻し/早送りしたいときは...

0.5秒以上押し続ける

押し続けている間、戻し/送りされます。

注意

ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。

特に乳幼児にご注意ください。

お知らせ

電源が切れているときにCDを入れると、電源が入ります。

CDモード中に取り出すと、電源が切れます。

いろいろな聴きかた

曲番号を
指定して聴く
(ダイレクト選曲)

選曲範囲：12曲目まで

1 ~ 6 曲目を選ぶには

1 ~ **6** を押す

7 ~ 12 曲目を選ぶには

1 ~ **6** を 1 秒以上押す

お知らせ

13 曲目以降の曲は...

TRACK
◀▶ で選ぶ

順不同に聴く
(ランダム)

R▶ を押す

(再度押すと、解除)



曲を探す
(スキャン)

約 10 秒ずつ再生する

SCAN
BAND を押す

(再度押すと、解除)

一周すると...
もとの曲の始めに戻る



曲の再生経過時間
(分表示) が点滅

繰り返し聴く
(リピート)

再生中の曲を
繰り返し再生する

REP を押す

(再度押すと、解除)



表示を切り替える

DISP を押す

通常表示

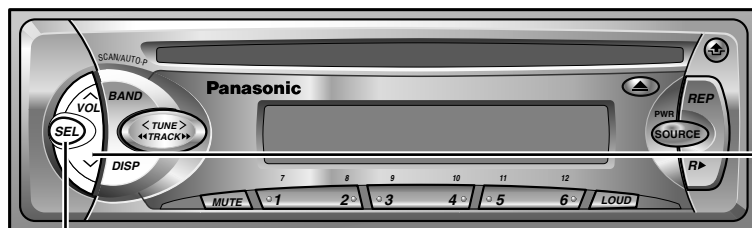


曲の再生経過時間・曲番号

時計表示

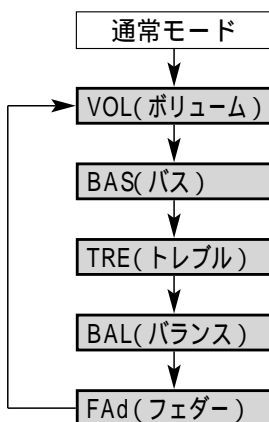


音質(サウンド)を調整する



1 SEL を押して項目を選び、

サウンド設定の項目



音量を調整する
(メインボリューム)

初期設定：20
調整範囲：0 ~ 40 (1ステップずつ)

低音域の音量レベルを調整する
(バス)

初期設定：0 dB
調整範囲：- 12 dB ~ + 12 dB (3 dB ずつ)

高音域の音量レベルを調整する
(トレブル)

初期設定：0 dB
調整範囲：- 12 dB ~ + 12 dB (3 dB ずつ)

左右の音量レベルを調整する
(バランス)

初期設定：0 (センター)
調整範囲：L/R 各 1 ~ 15 (1ステップずつ)

前後の音量レベルを調整する
(フェダー)

初期設定：0 (センター)
調整範囲：F/R 各 1 ~ 15 (1ステップずつ)

お知らせ

各項目が表示されている間に操作しないと...
(メインボリュームは約 2 秒間、その他は約 5 秒間)
通常モードに戻ります

通常モードに戻すには...

DISP 押す

2 VOL で調整する

VOL 20

メインボリュームは、
サウンド設定に切り替えずに調整できます。

通常モードで VOL 押す

BAS 12

BAS -12

TRE 12

TRE -12

L (Left) : 左側が強調される
R (Right) : 右側が強調される

BAL L 10

BAL 0

センター

F (Front) : 前方が強調される
R (Rear) : 後方が強調される

FAD F 10

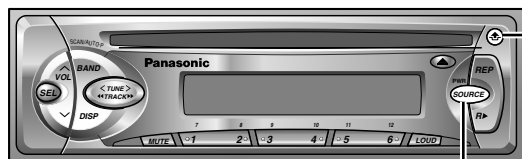
FAD 0

センター

パネルの脱着のしかた

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。 リムーバブルフェイス


取りはずしかた



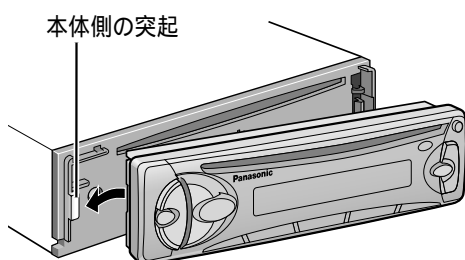
① 電源を切る

PWR
SOURCE を 1 秒以上押す

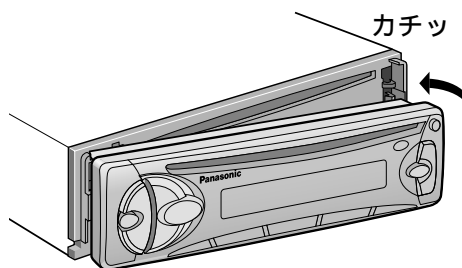
② パネルをはずす

 を押す

取り付けかた



① パネルの左端を 本体に差し込み、



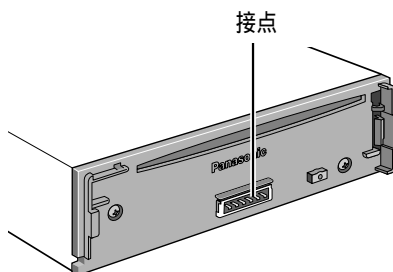
② パネルの右端を 本体にはめる

お願い

パネルは防水されていません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。

気温が上がるダッシュボードやその周辺に、パネルを置かないでください。

本体とパネルの接点には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。



ディスクの取り扱いについて

CD (コンパクトディスク)

使用できる CD



のマークがついているものを、
ご使用ください。

持ちかた

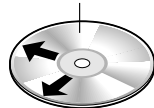
ディスクのセンターホール
と外周部分を持ちます。



CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で
拭いたあと、乾いた布で
拭きます。

記録面
(光っている面)



内側から外側へ拭く

取り扱いのお願い

CD そのものの破損、および機器の故障の原因になる
ことがありますので、次のことをお守りください。

記録面に手を触れない

CD が回転する方向に拭かない

ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電
防止剤で拭かない

CD を曲げない、キズを付けない

鉛筆やボールペンなどで字を書かない

⚠ 注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは
使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状の CD
や、プロテクトフィルムやスタビライ
ザーなどの CD アクセサリーを使用
すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた
CD は使用しない



禁止

ディスクにのりが付いていると、本機
の中で引っかかったり、故障の原因に
なります。特に、市販のプリンター等
で作成したラベルなどを貼り付けた
CD は、使用しないでください。

CD-R/RW ディスクのご使用について

再生可能な CD-R/RW ディスクは、通常の音楽 CD
の形式(CD-DA)で録音されたディスクに限ります。

CD レコーダーで記録した CD-R/RW ディスク
は、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生
できない場合があります。

CD-R/RW ディスクは通常の音楽 CD に比べ高温
多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において
劣化し、再生できない場合があります。

CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディ
スクの使用上の注意書きをよくお読みください。

ファイナライズ処理されていない CD-R/RW ディ
スクは再生できません。

MP3 ファイル、ビデオ CD、CD-ROM ディスク
などは再生できません。

ディスクの一番最初のデータが CD-DA でない
場合は、再生できません。

データを読みとり、再生が開始されるまで若干
時間がかかる場合があります。

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。

ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避け
るため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

長時間直射日光のあたるところ(車のシート、
ダッシュボードの上など)

暖房器具の熱が直接あたるところ

湿気やゴミ・ほこりの多いところ

腐食性のあるところ

強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

お手入れのしかた

本機が汚れたときは、電源を切ってから乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、避けてください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) 各コードの接続をお確かめください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	8 22 裏表紙
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。	8、14 9 -
前後左右の何れかの音が出ない	バランス、フェダーを適切に調整してください。 各コードの接続をお確かめください。	14 22
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続をお確かめください。	22
雑音が出る	アンテナが十分に伸びているか、お確かめください。 携帯電話などを本機から離してください。	- -

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
ラジオ		
FM ステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか、お確かめください。放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- 10
プリセットしたはずの放送局が解除されている	バッテリーコードを、常時通電している端子に接続してください。	22
CD		
ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される	ディスクを正しい面と向きで入れなおしてください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。 音楽用(録音されている)ディスクをご使用ください。	12 17 17
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 振動により音がとぶ 角度を 30° 以内に調整し、しっかり取り付けてください。	17 20

こんな表示が出たときは

表示例	原因と処置
E1	自動的にディスクが排出されます。(表示されない場合もあります) ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズがついている。 ディスクを確かめて、再度入れなおしてください。
E2	
E3	何らかの動作エラー(メカエラー)が起きた。

正常に戻らない場合は

お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。

万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったら

すぐに電源を切ってください。

煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。

お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

配線・取り付けの前に

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切つて他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火・感電・故障の原因になります。

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

品名	個数
電源コード	1

取り付け関係

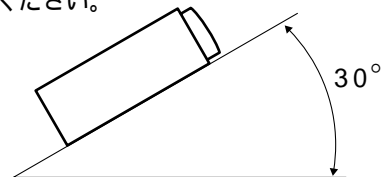
品名	個数
特殊座付きねじ (5 × 8 mm)	4
特殊皿ねじ (5 × 8 mm)	4
スペーサー	2
両面テープ	2

取り付け部の寸法・角度の確認

車種(ダッシュボードの形状や寸法)によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

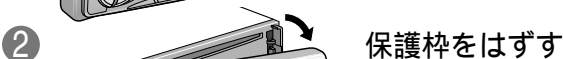
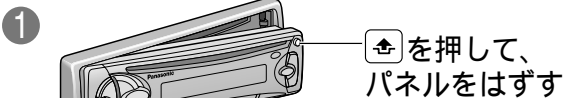
オーディオスペースが DIN サイズ(横 180 mm、縦 50 mm)、または 2DIN サイズ(横 180 mm、縦 100 mm)でない場合には、販売店にご相談ください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



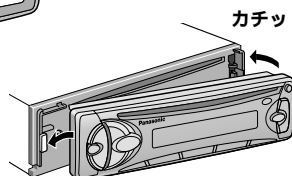
配線・取り付け作業前の準備

輸送用の保護枠は使用しません。本体から取りはずしてください。



パネルの取り付けかた

左端を本体側の突起へ差し込み、右端をはめる



配線・取り付け作業の順序

- ① バッテリーの ⊖ 端子をはずす
- ② 配線する (22 ページ)
車や組み合わせる機器との配線をしてください。
- ③ 取り付ける (21 ページ)
本体に付属電源コードのコネクターを接続し、車両に取り付けてください。
- ④ バッテリーの ⊖ 端子をもとに戻す

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

取り付けかた

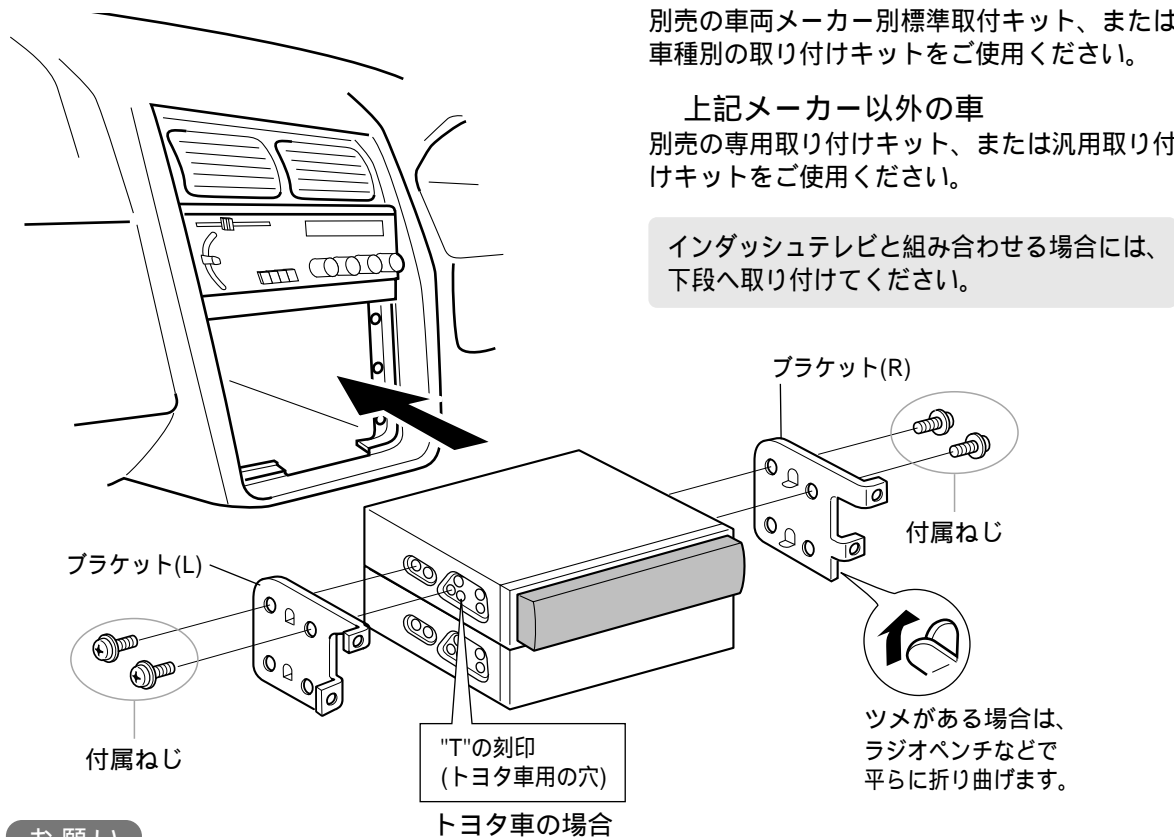
使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

トヨタ車(DINサイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケット
をご使用ください。

日産・本田・三菱車(DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取付キット、または
車種別の取り付けキットをご使用ください。

上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取付
けキットをご使用ください。

インダッシュテレビと組み合わせる場合には、
下段へ取り付けてください。

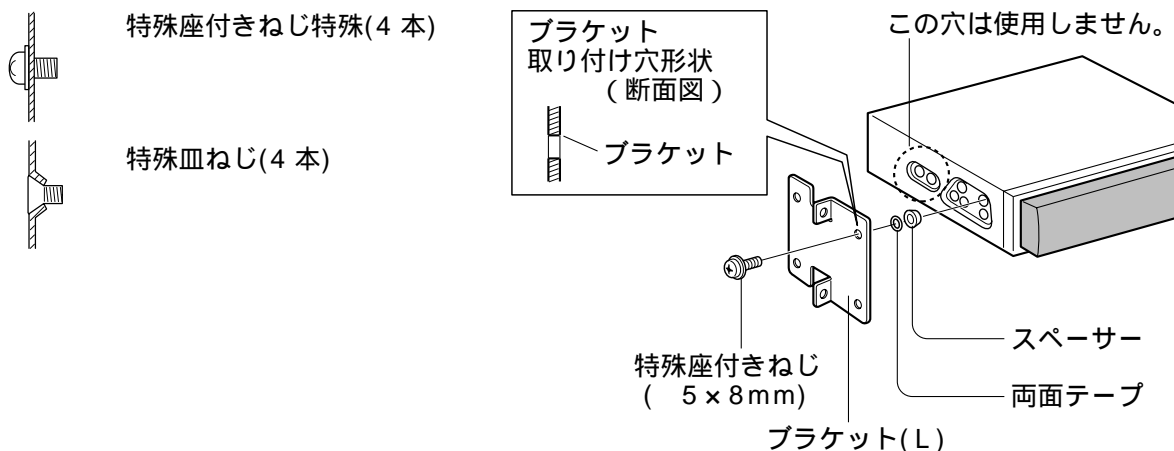


お願い

必ず付属ねじをご使用ください。

付属ねじは、取り付け金具(ブラケット)
の穴形状に合わせて選んでください。

ブラケットが不安定な場合には
スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。

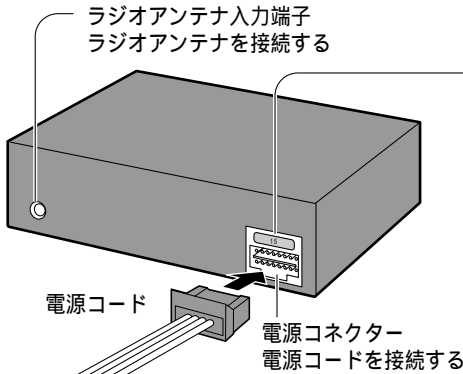


必要なときに

配線のしかた

お知らせ

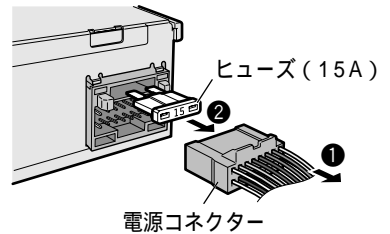
別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。



ヒューズ（15A）

ヒューズ交換は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

ヒューズの
はずしかた



アンテナコントロールコード（青）

ANT CONT MAX 0.1A

→ 車のアンテナコントロールコードへ

直接オートアンテナを駆動させる電源に接続しないでください。

外部アンプコントロールコード（青/白）

AMP CONT MAX 0.1A

→ 外部アンプのアンプコントロールコードへ

バッテリーコード（黄）

BATTERY 15A

→ 車のバッテリーへ

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

アクセサリコード（赤）

ACC

→ 車のACC電源へ

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、販売店へご相談ください。

アースコード（黒）

→ 車の金属部へ

フロントスピーカーコード（左）

FRONT L

（白） ⊕

（白/黒） ⊖

（左）
フロントスピーカーへ

フロントスピーカーコード（右）

FRONT R

（灰） ⊕

（灰/黒） ⊖

（右）

リアスピーカーコード（左）

REAR L

（緑） ⊕

（緑/黒） ⊖

（左）

リアスピーカーコード（右）

REAR R

（紫） ⊕

（紫/黒） ⊖

（右）
リアスピーカーへ

2スピーカーの場合は
使用しないスピーカーコードが
車の金属部に接触しないように、
ビニールテープ等で絶縁してく
ださい。

仕様

共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖ アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 8.5 A 以下 (CD 動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1 %, 4)
最大出力	: 45 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 150 (mm)
質量	: 1.5 kg

FM チューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N 比 (MONO)	: 70 dB
周波数特性	: 20 Hz ~ 15 kHz ± 3 dB
ステレオ分離度	: 35 dB (400 Hz)
実効選択度 (± 400 kHz)	: 75 dB

AM チューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 27 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CD プレーヤー部

チャンネル数	: 2 チャンネル
復号化	: 16 ビット直線
周波数特性	: 20 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF、A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。


補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室

 **0120-50-8729**

フリーダイヤル（料金無料）
受付 9：00～17：00
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-RX3000D
販売店名	☎ ()	—	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	—	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地